

アンジュール いつの日か… unjour 2023 春

いつもどこかで素敵な出会いを



新しい村井のスタッフ紹介

入社半年の3名のスタッフです。
現在の主な仕事はご遺体を病院から
ご自宅への搬送、ご自宅でお経があがる準備、
葬儀日時と場所を決めることです。
同じ仕事をしていますが、それぞれの思いを
インタビューしました。

読者プレゼント

同封のハガキに
ご意見・ご感想・質問など
お気軽にお寄せください。

箱一様の 花びら箸置き

抽選で20名様に
プレゼント

応募締切 令和5年5月31日(水)

※当選者には、こちらからお届けに伺います。

セレモニー会館兼六



セレモニー会館
兼六西泉

〒921-8043
金沢市西泉4丁目85番地
☎076-241-4949



セレモニー会館
兼六駅西

〒920-0024
金沢市西念4丁目26番15号
☎076-234-7744



セレモニー会館
兼六城北

〒920-0842
金沢市元町1丁目8番20号
☎076-252-9999



セレモニー会館
兼六笠舞

〒920-0965
金沢市笠舞3丁目4番3号
☎076-224-8700



セレモニー会館
兼六扇が丘

〒921-8812
野々市市扇が丘33番19号
☎076-248-0005

兼六互助センターからのお願い

■ご住所・ご連絡先が変わられた会員様へ
住所等変更をお知らせください

お電話またはEメールにて受け付けております。

☎(076)242-0612
Eメール: muraigrp@po.incl.ne.jp



読者プレゼント

同封のハガキにご意見・ご感想・質問などお気軽にお寄せください。

抽選で20名様に

箱一様の花びら箸置き プレゼント

応募締切 令和5年5月31日(水)

※当選者には、こちらからお届けに伺います。

編集後記

私がこのアンジュールの編集にたずさわり約9年になります。兼六互助会の会員皆様が楽しんでいただける内容を考えておりますが、長く携わっておりますと、だんだんと難しくなるもので、近年はかなり困っております(泣)。プレゼントハガキには取り上げて欲しい事を書いてくれる方もいて参考にさせてもらうのですが、実力不足により実現できなくて申し訳ございません。しかし本当に困っておりますので、これからも皆様のご意見、ご要望をどしどしお待ちしておりますので、どうかよろしくお願ひいたします。

新しいスタッフが作る、村井の未来



中嶋 晃 2022年6月入社 趣味：ギター

ご遺族の不安を和らげたい

元は東京で暮らし、家電量販店の店長をしていました。でも、地元企業で働きたいと思うようになり、金沢に戻って来たんです。そんな中で出会い、入社を決めたのが村井でした。地元で長く続いている会社ですし、何より「お客様と関わる仕事がしたい」という自分の想いを叶えられる、そう考えたからです。

仕事をする中で大事にしているのが、ご遺族への気遣いです。家電量販店では、お客様と明るく接することが重要でした。でも葬儀の場においては違います。故人の亡くなり方は当然ながらそれぞれ違って、中には突然命を落とされた方もおられます。そんな場

合、ご遺族の悲しみはなおさらです。しかも多くのご遺族にとって、葬儀は初めての経験。何をすればいいのか分からず、途方に暮れる方も少なくありません。だからこそ、ご遺族はどんな心境なのかをくみ取って、分かりやすく心のこもった接し方をしたいと思うのです。

私にご遺族と接するのは、病院にご遺族を迎えに行き、ご自宅に送り届けるまでの短い時間です。その中で様子を拝見したり話をしたりしながら、どういった言葉かけのべきか、口調やタイミングも含めて考えながら接するようにしています。手探りではありますが、「不安が解消したよ、ありがとう」

とう」と言っていたら、とてもうれしい気持ちになります。村井での仕事を始めて、およそ半年が過ぎました。今後、ディレクターになると、ご遺族との打ち合わせを行い、幅広い業務に関わることとなります。しっかりと学び、なんの滞りなく葬儀を終えることが目標です。

世間では近年、家族葬のような小さなお葬式が増えていますが、村井では社葬やお寺さんで行う寺院葬など、さまざまな葬儀を行っています。これは長い歴史に裏打ちされた信頼があつてこそだと思います。色々な仕事に携われる環境で経験を積みながら、目標に対して努力し続けます。



吉野 裕輝 2022年6月入社 趣味：筋トレ

伝統を守りながら、今の感覚も取り入れたい

私の前職は、心電図や人工呼吸器といった医療機器の営業です。医療業界に身を置いていたため、人の生死は身近に感じていました。そして人と話すことが好きなので、もつとお客様とじかに話せる仕事がしたい、そう思って村井に入社したんです。

ただ、前から生死が身近だったとはいえ、実際に仕事を始めると驚きもありました。病院にご遺体を預かりに行き、ベッドからストレッチャーにご遺体を移動するとき、まだ少し温かいんです。数時間前まで生きておられた、そう実感するとやはり、胸に迫るものがあります。

故人はご遺族にとって大切な

方、かけがえのない方です。そういう方を見送り、葬儀をするというのは、人生で何度も経験することではありません。だから病院にお迎えに行くたび、一回一回の葬儀を大切にしようと、身が引き締まる思いがします。

私にご遺族と関わるのは、今はまだほんの短い時間だけです。にもかかわらず、「おかげでいい時間が過ごせた」といった、温かいお言葉をいただくことがあります。そういう声をかけていただけるとうれいし、この仕事をしていて良かったなと思える瞬間でもあります。

村井は歴史のある企業で、おかげさまで地元では名前も通ってい

ます。その伝統を大切にしていきたいし、その一方で、私たち若い世代の感覚や価値観も取り入れられたらと思います。今風に変えられるところは変えながら、「やっぱり、さすが村井さんね」とおほめたいただける伝統を残す。そういった形で仕事ができればいいなと考えています。

村井の社風は、先輩方が私達を温かく迎え、良く面倒を見て下さいます。分からないことがあれば何でも素直に聞けるので、ありがたい環境だと感じます。先輩から仕事を引き継いで伝統を守り、さらに若さを生かして会社を良くしていく、それが一番の目標です。



西川 永遠史 2022年6月入社 趣味：サッカー

ご遺族の気持ちに寄り添う仕事を

村井に入社する前は、自動車ディーラーで営業をしていました。入社前に葬儀に参列した経験はありませんでしたが、人と関わる仕事であるという意味では同じです。何よりご遺族に寄り添える仕事であることに魅力を感じて、ここで働きたいと思いました。

私の主な業務は、ご遺体を病院からご自宅にお運びすること、そして通夜や葬式の日程をご遺族と相談し、決めることです。葬儀全体から見ればほんの一部分かもしれませんが、でもご遺族にとって私は、初めて会う村井の社員。会社の第一印象を決める、重要な役目を担っていると思っています。だから仕事をする上では、一つ

一つを丁寧にすることに気を配っています。例えば、「畳のへりを踏まない」といった礼儀作法や正しい言葉遣いはもちろんのこと、物音を立てず、なるべく静かにするようにも心がけています。そう思うと、前職の営業の経験も生きているのかもしれない。

仕事をしていると、色々な死があることを実感します。これまでに何度か、自分より若い方の葬儀も経験しました。喪主の方が自分の親と同世代だなと感じると、そのお姿を見ているのが辛く感じることもあります。でも、そんな中だからこそ心を込めて接したいと思いますし、「あのときはありがとう」と声をかけていただけると、

やりがいを感じます。

これから経験を重ねてディレクターになると、ご遺族と打ち合わせをして詳細を決め、全てを一緒にすることになります。そのため大事にしたいのは寄り添う気持ちです。より相手を理解して、どういうご要望をお持ちかを聞いて、お手伝いしたい、そう考えています。

葬儀は覚えることがとても多くて、毎回やるのが違います。しかも、その場で判断が求められることも少なくありません。常にご遺族の気持ちに丁寧に寄り添いながら、臨機応変に動けるディレクターを目指して、これからも頑張ります。